

共濟相互金庫火災保險部規定(草案)

總則

- 一、加入組員有する關東労働同盟會加盟ノ各組合長
二、加入組員百名以上有する支部代表者並ニ近接地方支部ノ合意ニヨリ選バレタル代表者
三、管理委員長ハ關東労働同盟會長之ニ任ズ
委員ヲ代理スルモノハ委任狀ヲ要シ其選出區ヲ代表シ得ル組合員タル事ヲ要ス
但シ委員ト雖モ自身ガ受ケル共濟事件ノ爲メ開催サル、委員會ニ於テハ其決議ニ加ハルヲ得ズ
管理委員會ハ必要ニ應ジ委員長之ヲ召集シ、議事ハ委員總數過半ノ同意ヲ以テ決ス、但シ其ノ決議ニ異議ヲ生ジタル場合ハ代表スル組合員數ニヨリ投票ニ開ヒ之ヲ決ス
第七條 管理委員會ハ本金庫管理金額ノ先運用等ヲ決スルト共ニ主事一名、常任委員若干名選出シ決議ヲ執行セシム
第八條 管理委員長ハ必要ニ應ジ事務員ヲ任免スル事ヲ得
第九條 本金庫ニ監事若干名ヲ置キ事業ヲ監査セシム、監事ハ關東同盟會計審査其任ニ當ル
附則
第九條 本規約ハ關東労働同盟會理事會ノ同意ヲ經テニテ之ヲレバ變更スル事ヲ得ズ
第十條 本規約ニ於テ組合員ト稱スルハ本金庫ノ事業ニ加入セラル者ヲ云フ
第十一條 本規定ハ昭和五年 月 日ヨリ之ヲ實施ス

- 第一條 本保險部ハ關東労働同盟會共濟相互金庫火災保險部ト稱シ、火災ニ罹リタル組合員ヲ共濟スルヲ以テ目的トス
會 員
第二條 本規定ニ於テ組合員ト稱スルハ規定ノ手續ヲ了シ加入ナシメラレタル者ニシテ所定ノ會費ヲ拂込タルモノヲ云フ
會費及共濟
第三條 會員ハ一月並ニ十二月ヲ除ク毎月金一圓ノ會費ヲ拂込ムモノトス(二年十圓)
第四條 會員罹災ノ場合其程度ニヨリ一千圓ヲ限度トスル見舞金ヲ増呈ス
但シ右限度以上ノ見舞金ヲ希望スル會員ハ其率ゲケ第三條ノ會費ヲ增加スル事ニヨリ二千圓限度ニ増加スル事ヲ得
第五條 會員ガ消費組合ノ代表者又ハ労働會館ノ代表者ナル場合ハ第四條ノ規定ニ關ラズ、限度ヲ超過スル事ヲ得
會員死亡ノ爲メ保險拂込不可能ニ到リタル場合ハ其事業年度中ノ拂込總額ヲ拂戻スモノトス
但シ右以外ノ事情ニヨリ拂込ノ中止ハ二ヶ月ヲ限度トス

- トシ、三ヶ月ヲ越ヘタル場合ハ任意脱退者ト見ナシ拂込額金額ノ限度トシテ拂戻シテ行フト共ニ會員ノ資格ヲ喪失ス
事業ノ執行
第七條 本保險部ノ事業年度ハ毎年一月一日ニ始リ十二月末日ヲ以テ終ル
第八條 會員罹災ノ報ヲ受ケタル常任委員ハ速希ナク其程度ヲ調査シ右ノ各項ニヨリ見舞金ヲ附呈スルモノトス
一、罹災ノ原因ニ何等ノ疑義ヲ有セザル場合ハ四十八時間内ニ共濟金ヲ附呈ス
二、罹災者不幸ニシテ同時ニ多數ヲ生ジ、爲メニ本事業全基金ヲ以テスルモ尙所定ノ見舞ヲナシ能ハザル場合ハ止ムヲ得ズ其金額額ヲ分配贈呈シ決議スルモノトス
三、公權ノ命ズル目的物ノ燒棄及戰爭、天災、地變等不可抗力ニヨリ罹災ノ場合ハ評議員會ノ決定ニヨル
四、罹災ノ原因ニ故意又ハ不正ノ疑ヒアリタル時ハ所轄警察署ノ證明ヲ徵シ正當ナル罹災者ト認メラレタルモノニ限リ贈呈ス
五、罹災後七日ヲ超過シテ届ケ出タル場合ハ無効トナル事アルベシ
六、以上ノ規定ニ定メナキ事項發生ノ場合ハ評議員

- 會ノ決定ニヨリ處理ス
剩餘金ノ處分
第九條 本事業ノ剩餘金ハ其三分ノ一ヲ若任準備金トシテ積立テ他ハ會員ノ拂込ミタル會費額ニ應ジ拂戻スモノトス
機 關
第十條 會議ヲ分ケテ評議員會、常任委員會トシ、評議員會特ニ必要アリトスル時總會ヲ開催シ得ルモノトス
一、評議員會ハ評議員ヲ以テ成立シ、本事業執行ニ關スル重要事項ヲ協議決定ス、但シ議事上異議ヲ生ジ決定困難ナル時ハ共濟相互金庫管理委員會ノ審議ニヨリ決ス
二、常任委員ヲ以テシ評議員會ノ決定ニ基キ事業ヲ執行ス
役 員
第十一條 本部ニ右ノ役員ヲ置ク
一、部長一名、二、常任委員若干名
三、評議員若干名
一、部長ハ共濟相互管理委員會之ヲ任命シ評議員會及常任委員會ノ議長ニ任ジ事務ヲ統理ス
二、常任委員ハ評議員會ニ於テ互選シ部長ヲ補ケテ事務ヲ分擔處理ス
三、評議員ハ左ノ割合ヲ以テ選出シ本事業執行上ノ意見ヲ陳陳シ其監督ヲ擔當ス